

平成27年度 第3回埼玉県地方独立行政法人評価委員会 議事録

日 時 平成27年10月20日(火) 午前10時

場 所 都道府県会館 408会議室

出席委員 横道委員長、鶴田委員、東郷委員、根岸委員、服部委員

県側出席者：阿部保健医療政策課長、武井保健医療政策課副課長 ほか

法人出席者：清野副局長、渡邊主幹

○ 次 第

1 開 会

2 議 事

公立大学法人埼玉県立大学の第2期間中期目標(案)について

3 閉 会

○ 結 果

1 開 会

(会議の公開)

評価委員会規則第7条に基づき、会議の公開を決定した。(傍聴者なし)

2 議 事

【説明】

・県事務局から「公立大学法人埼玉県立大学の第2期中期目標案について」説明。

【結果】

「公立大学法人埼玉県立大学の第2期中期目標案」が了承された。

[審議概要]

・公立大学法人埼玉県立大学の第2期中期目標案について

《主な意見》

横道委員長：他職種連携に関する記述部ですが、この部分は、中期計画の中でより充実させる形としては、いかがでしょうか。

県事務局：中期計画を策定する際の留意事項とさせていただきます。

服部委員：進路決定率を向上させるためには、学生一人一人に対する学科教員の個別指導が非常に大切だと思います。進路決定率100%という数値目標は、必ずしも達成できない目標ではないと思います。

鶴田委員：今回の策定した中期目標が今後、具体的に目標が見える形で達成されていくと

良いと思います。また、県内就職率についてですが、健康開発学科の数値が低いので、この部分をどのように改善していけばよいか、その点を引き続き検討していく必要があると思います。就職対策がしっかりしていれば、それが志願者の増加に結びつくと思います。

根岸委員：志願者が増加すれば、自己収入の割合が増えますので、これが自主財源比率の改善に繋がるものと考えます。

東郷委員：国家試験の合格率は重要であるかもしれませんが、しかし、日本の医療現場は刻々と変化しておりますので、大学といたしましては、就職後に役立つことを学ばせるという視点も大切であると思います。

4 閉 会